

# 第68期

## 報 告 書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

## 営業の概況

---

当事業年度のわが国経済は、4月の消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動による個人消費の停滞など先行き不透明な状況が続きましたが、政府の経済政策や日本銀行による金融緩和等の効果により、緩やかな回復となりました。

このような状況のもと、当社は新規需要分野の開拓など積極的な営業活動に努めるとともに、収益改善に鋭意取り組んでまいりました。

製品の販売状況につきましては、合成繊維製品における衛生材料用途および高機能チューブ製品の販売が堅調に推移したものの、光通信ケーブル用資材「ラセンコンポーズ」は、情報通信分野における通信環境やニーズの変化により、販売が大幅に下回りました。また、個人消費の停滞や農業人口の減少などの影響を受け、FRP製品の販売が低迷いたしました。フレキシブル銅張積層板「ユピセル」は、デジタル市場全体の需要は伸長したものの、汎用品における価格競争の一層の激化などにより、販売が大きく減少いたしました。その他の製品につきましても全般的に低調に推移いたしました。

この結果、当事業年度の売上高は112億9千万円（前事業年度比9.7%減）、経常損失が8千7百万円（前事業年度経常利益1億8千7百万円）、当期純損失は1億5千3百万円（前事業年度当期純利益6千3百万円）と減収減益となり、昭和58年以来31年ぶりの経常損失計上のやむなきにいたりました。

## 【電子・情報材料部門】

当部門の売上高は25億6千9百万円（前事業年度比17.9%減）となりました。

光通信ケーブル用資材「ラセンコンポーズ」は、国内市場の急激な縮小が進み、売上高は大幅に減少いたしました。

光通信ケーブル用資材「コンポーズテンションメンバー」は、スマートフォンやタブレット型端末の普及によるワイヤレスブロードバンド通信のシェア拡大に伴い、ケーブル敷設需要減少の影響はあったものの、積極的な販売活動の展開により、売上高は前事業年度並みとなりました。

高純度シリカ微粒子「ハイプレシカ」は、高機能樹脂充填材用途の需要が低迷したものの、アジアにおけるスマートフォン市場の伸長により液晶ディスプレイ用途などの販売が堅調に推移し、売上高は前事業年度並みとなりました。

フレキシブル銅張積層板「ユピセル」は、スマートフォンやタブレット型端末の需要伸長により市場が拡大する一方、汎用品における急激な価格下落が進むなど競争が激化し、また、特長を生かした差別化グレードの販売に注力しましたが、立ち上がりの遅れにより、売上高は前事業年度を大幅に下回りました。

### 【機能樹脂製品部門】

当部門の売上高は33億8千6百万円（前事業年度比9.2%減）となりました。

FRP製品は、消費税増税前の駆け込み需要の反動により、農業向け用途の販売が総じて低調に推移した結果、売上高は前事業年度を大幅に下回りました。

中空構造フィルム「サニーコート」は、窓用フィルム向けの販売が安価な類似品の台頭に加えて、ユーザーにおける在庫調整の影響を受け、売上高は前事業年度より大幅に減少いたしました。

高機能チューブは、主用途である産業機械向け用途の販売が堅調に推移したことに加えて、自動車向け用途のシェア拡大に努めた結果、売上高は前事業年度を上回りました。

ロープ原糸「ダンライン」は、水産用ロープの需要低迷が底を打ち、販売が徐々に回復した結果、売上高は前事業年度を上回りました。

産業機械向けフィルターは、昨年度より開始した販売が堅調に推移した結果、売上高は前事業年度より増加いたしました。

### 【繊維・産業資材部門】

当部門の売上高は53億3千3百万円（前事業年度比5.4%減）となりました。

複合繊維「UCファイバー」は、衛生材料用途の国内

外での需要が堅調に推移した結果、売上高は前事業年度を上回りました。また、ニッケル水素電池向けの高強度ポリプロ繊維「シムテックス」は、自動車向け販売が堅調に推移したものの、民生用途における販売が価格競争の激化により低迷し、売上高は前事業年度を大幅に下回りました。

プラスチックダンボール「ダンプレート」は、原材料価格上昇に対する販売価格の是正により販売が減少するなか、自動車向け資材のモデルチェンジに伴う需要取り込みに努めたものの、売上高は前事業年度を僅かに下回りました。

中空ハニカム構造板「ツインコーン」は、土木資材用途の震災復興需要が収束するなどにより販売が低調であったため、当事業年度後半より営業人員の強化や新グレード開発のための設備投資など経営資源の集中投下を行い、新規用途開発や差別化を推し進め、拡販に努めましたが、売上高は前事業年度より減少いたしました。

## 貸借対照表

(単位：千円)

資 産 の 部		
科 目	当 期 (平成27年3月31日現在)	前 期 (平成26年3月31日現在)
<b>流 動 資 産</b>	<b>9,334,693</b>	<b>9,733,583</b>
現金及び預金	1,219,461	1,225,911
受取手形	670,331	660,683
売掛金	3,300,816	3,506,749
商品及び製品	1,224,290	1,220,300
仕掛品	166,480	206,581
原材料及び貯蔵品	500,614	522,596
前払費用	16,342	18,113
繰延税金資産	147,938	127,828
未収入金	64,529	126,879
預け金	2,018,890	2,114,729
その他	8,233	8,313
貸倒引当金	△ 3,236	△ 5,104
<b>固 定 資 産</b>	<b>6,230,019</b>	<b>6,357,929</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>4,042,963</b>	<b>4,018,232</b>
建物	988,125	1,035,798
構築物	74,282	83,899
機械及び装置	1,126,314	1,131,677
車輛運搬具	1,361	2,163
工具、器具及び備品	71,237	78,872
土地	1,453,218	1,453,218
リース資産	7,762	8,483
建設仮勘定	320,661	224,121
<b>無形固定資産</b>	<b>38,509</b>	<b>49,235</b>
ソフトウェア	31,861	42,587
電話加入権	6,647	6,647
<b>投資その他の資産</b>	<b>2,148,545</b>	<b>2,290,462</b>
投資有価証券	250,713	216,632
関係会社株式	40,000	40,000
関係会社出資金	1,102,014	1,102,014
長期貸付金	8,251	9,539
長期前払費用	17,290	24,814
繰延税金資産	633,998	800,302
敷金及び保証金	49,381	50,265
その他	55,594	55,594
貸倒引当金	△ 8,700	△ 8,700
<b>資 産 合 計</b>	<b>15,564,713</b>	<b>16,091,513</b>

(単位：千円)

負債の部		
科目	当期 (平成27年3月31日現在)	前期 (平成26年3月31日現在)
<b>流動負債</b>	<b>2,627,718</b>	<b>2,931,617</b>
買掛金	1,492,358	1,681,131
短期借入金	135,000	135,000
リース債務	4,667	4,954
未払金	585,995	740,948
未払費用	89,951	86,794
未払法人税等	13,167	7,805
未払消費税	104,761	44,175
預り金	22,902	23,534
賞与引当金	172,614	192,273
災害損失引当金	6,300	15,000
<b>固定負債</b>	<b>2,159,922</b>	<b>2,386,709</b>
リース債務	4,280	5,951
退職給付引当金	1,775,108	1,989,814
役員退職慰労引当金	69,650	65,020
資産除去債務	37,558	36,716
長期預り保証金	273,324	289,205
<b>負債合計</b>	<b>4,787,641</b>	<b>5,318,327</b>
純資産の部		
<b>株主資本</b>	<b>10,659,147</b>	<b>10,682,528</b>
資本金	2,492,500	2,492,500
資本剰余金	1,725,000	1,725,000
資本準備金	1,725,000	1,725,000
利益剰余金	6,441,647	6,465,028
利益準備金	368,088	368,088
その他利益剰余金	6,073,558	6,096,939
特別償却積立金	23,800	34,161
固定資産圧縮積立金	7,374	8,795
別途積立金	3,500,000	3,500,000
繰越利益剰余金	2,542,383	2,553,982
評価・換算差額等	117,925	90,657
その他有価証券評価差額金	117,925	90,657
<b>純資産合計</b>	<b>10,777,072</b>	<b>10,773,186</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>15,564,713</b>	<b>16,091,513</b>

## 損益計算書

(単位：千円)

科 目	当 期 (平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで)	前 期 (平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで)
売 上 高	11,290,017	12,495,993
売 上 原 価	8,866,412	9,635,716
売 上 総 利 益	2,423,605	2,860,277
販売費及び一般管理費	2,578,237	2,740,693
営業利益 (△損失)	△ 154,632	119,583
営 業 外 収 益	82,242	71,285
受取利息及び配当金	12,271	9,450
その他の営業外収益	69,970	61,834
営 業 外 費 用	14,750	3,488
支 払 利 息	1,057	1,556
その他の営業外費用	13,693	1,931
経常利益 (△損失)	△ 87,140	187,380
特 別 利 益	—	14,376
国庫補助金収入	—	14,376
特 別 損 失	—	65,914
社名変更費用	—	34,455
固定資産処分損	—	31,459
税引前当期純利益 (△損失)	△ 87,140	135,842
法人税、住民税及び事業税	15,803	8,320
法人税等調整額	50,154	64,098
当期純利益 (△損失)	△ 153,098	63,422



## 株主資本等変動計算書

(単位：千円)

	株 主 資 本					
	資本金	資本剰余金	利 益 剰 余 金			
		資 本 準 備 金	利 益 準 備 金	そ の 他 利 益 剰 余 金		
			特別償却積立金	固定資産圧縮積立金	別 途 積 立 金	
平成26年4月1日残高	2,492,500	1,725,000	368,088	34,161	8,795	3,500,000
会計方針の変更による累積的影響額						
会計方針の変更を反映した当期首残高	2,492,500	1,725,000	368,088	34,161	8,795	3,500,000
事業年度中の変動額						
特別償却積立金の取崩				△10,361		
固定資産圧縮積立金の取崩					△1,420	
剰余金の配当						
当期純損失						
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)						
事業年度中の変動額合計				△10,361	△1,420	
平成27年3月31日残高	2,492,500	1,725,000	368,088	23,800	7,374	3,500,000

(単位：千円)

	株 主 資 本			評価・換算差額等	純資産合計
	利 益 剰 余 金		株主資本計合	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	
	その他利益剰余金	利益剰余金合			
	繰越利益剰余金	計			
平成26年4月1日残高	2,553,982	6,465,028	10,682,528	90,657	10,773,186
会計方針の変更による累積的影響額	161,406	161,406	161,406		161,406
会計方針の変更を反映した当期首残高	2,715,388	6,626,434	10,843,934	90,657	10,934,592
事業年度中の変動額					
特別償却積立金の取崩	10,361	-	-		-
固定資産圧縮積立金の取崩	1,420	-	-		-
剰余金の配当	△31,689	△31,689	△31,689		△31,689
当期純損失	△153,098	△153,098	△153,098		△153,098
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)				27,267	27,267
事業年度中の変動額合計	△173,005	△184,787	△184,787	27,267	△157,520
平成27年3月31日残高	2,542,383	6,441,647	10,659,147	117,925	10,777,072

## 会社の概況（平成27年3月31日現在）

■商 号 宇部エクシモ株式会社

■設 立 昭和41年2月22日

■資 本 金 24億9,250万円

■発行済株式総数 25,150千株

### ■主要な事業内容

電子・情報材料 部 門	ラセンコンポーズ（光通信ケーブル用資材） コンポーズテンションメンバー（光通信 ケーブル用資材） ハイプレシカ（液晶ディスプレイ用スペーサー） ユピセル（フレキシブル銅張積層板） その他情報材料、電子材料の製造、加工、販売
機能樹脂製品 部 門	ダンポール（農業用FRP支柱） コンポーズパイプ（水産用FRP支柱） コンポーズバタ・足場材（建築・仮設資 材用FRPパイプ） サニーコート（中空構造フィルム） 高機能チューブ（産業機械用等各種チューブ） フィルター（エアーフィルター） ダンライン（水産・船舶用ロープ原糸） その他機能樹脂製品の製造、加工、販売
繊維・産業資材 部 門	UCファイバー（紙おむつ等衛生材料用複合繊維） シムテックス（電池セパレーター用繊維、 コンクリート剥落防止用メッシュ） ポリプロ繊維（カーペット・フィルター用原糸） シムロック（コンクリート用補強繊維） ダンプレート（プラスチックダンボール） ツインコーン（4層中空ハニカム構造板） その他機能繊維製品、産業資材の製造、 加工、販売

## ■事業所

本 社 〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町9番19号  
大阪支店 〒530-0003 大阪市北区堂島1丁目6番20号  
営業所 名古屋営業所（名古屋市東区）  
福岡営業所（福岡市中央区）  
工場 岐阜工場（岐阜県岐阜市）  
福島工場（福島県郡山市）  
研究所 岐阜研究所（岐阜県岐阜市）

■従業員数 305名

■ホームページアドレス <http://www.ube-exsymo.co.jp>

## 役員（平成27年6月23日現在）

---

代表取締役社長	渡 邊 史 信	※社長執行役員	渡 邊 史 信
取 締 役	小 塚 健 次	※常務執行役員	小 塚 健 次
取 締 役	高 橋 俊 充	常務執行役員	井 田 洋 治
取 締 役	泉 原 雅 人	執行役員	山 下 隆 之
監 査 役	笠 井 孝 真	※執行役員	高 橋 俊 充
		執行役員	石 井 徳

（注）※は取締役との兼務を示しています。